

※ 下線の事業は、「4 主な事業の概要」に記載

I 産業維新

① 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト

重点
施策 1 産業におけるデジタル化の加速

◆ 建設DX総合推進事業

(100,141千円) P21

② 未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト

重点
施策 4 2050年カーボンニュートラルへの挑戦

◆ 公共事業

19,530千円

カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向け、官民の連携による港湾における脱炭素化の取組を定める港湾脱炭素化推進計画の策定等を推進

③ 時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト

重点
施策 9 強みを伸ばす産業基盤の整備

◆ 下関・北浦海域沖合人工島建設事業費

36,160千円

国際物流機能の強化やクルーズ船の誘致を促進するための、下関市が実施する下関・北浦海域沖合人工島の整備を支援

◆ 港湾施設使用料等の減免

県内港湾を利用する外貿定期コンテナ船及び国際フィーダー航路を利用するコンテナ船に対し、港湾施設使用料等の減免を実施

I 産業維新

| | | |
|--|-------------|-----|
| 新 新たな道路整備計画策定事業 | 16,211千円 | P15 |
| 幹線道路網の整備など、道路の整備・保全を重点的・計画的に進めていくための指針となる道路整備計画を策定 | | |
| ◆ 高速交通道路網調査費 | 9,000千円 | P19 |
| 高規格道路等の今後の整備方針等を検討するため、必要な調査を実施 | | |
| ◆ 山陰道整備促進事業 | 5,500千円 | P19 |
| 山陰道の早期整備に向け、国と連携して必要な調査を実施 | | |
| ◆ 公共事業 | 9,223,340千円 | |

瀬戸内沿岸の企業群を中心とした基幹産業のコスト競争力強化や生産性向上を図るため、企業の国際競争力強化に資する港湾の機能強化や、迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備等を推進

≪主要箇所≫

- | | | | | |
|-------|---------------------------------|---------|-------------------|-----------------|
| [道 路] | ・山陰道（俵山・豊田道路） | ：バイパス整備 | ・小郡萩道路（絵堂萩道路） | ：バイパス整備（一部現道活用） |
| | ・国道2号（岩国・大竹道路） | ：バイパス整備 | ・国道188号（藤生長野バイパス） | ：バイパス整備 |
| | ・国道491号（清末～小月） | ：バイパス整備 | ・県道光柳井線（虹ヶ丘） | ：バイパス整備 |
| [港 湾] | <国際バルク戦略港湾> | | | |
| | ・徳山下松港（徳山地区、新南陽地区）：航路・泊地浚渫、岸壁延伸 | | | |
| | <その他重要港湾> | | | |
| | ・岩国港（装束～室の木地区） | ：臨港道路整備 | ・宇部港（沖の山地区） | ：岸壁改良 |
| [街 路] | ・環状一号線（新田） | ：現道拡幅 | | |

I 産業維新

④ 中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト

重点 施策 15 持続可能な建設産業の構築

◆ 建設産業活性化推進事業 23,201千円 P20

建設産業が将来にわたり、地域のインフラ整備や災害時の応急復旧等、県民の安心・安全を担う力を維持・活性化していくため、産学公の連携により「担い手の確保・育成」を推進

◆ 建設産業就労環境改善支援事業 13,985千円 P20

建設産業に特化した新たな働き方の取組推進により、担い手の確保及び若年者の離職防止を図り、持続可能な建設産業を構築

◆ 建設DX総合推進事業 100,141千円 P21

建設産業におけるDXを推進することにより、建設産業の生産性向上及びデータ利活用環境の実現

II 大交流維新

⑥ 交流拡大による活力創出プロジェクト

**重点
施策** 21 山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信

拡 山口きらら博記念公園交流拠点化事業 19,888千円 P17

拡 山口きらら博記念公園交流拠点化事業【公共】 1,345,547千円 P17

「山口きらら博記念公園みらいビジョン」に基づき、子どもから大人まで幅広い世代が集い、伸び伸びと活動する中で山口の豊かさや住みよさを実感できる「交流拠点」、県外の人に山口の魅力を感じ訪れてもらう「集客拠点」とし、元気と活力を創出する拠点として公園を再整備するとともに公園の利用を促進

**重点
施策** 23 広域的な交通インフラの整備

新 新たな道路整備計画策定事業 (16,211千円) P15

◆ 高速交通道路網調査費 (9,000千円) P19

◆ 山陰道整備促進事業 (5,500千円) P19

◆ 公共事業 503,970千円

人やモノの流れの拡大を支えるため、空港や新幹線駅等の広域交通拠点と観光地、観光地相互の移動時間の短縮や、周遊ルートの形成に資する幹線道路の整備等を推進

《主要箇所》

〔街 路〕・幡生綾羅木線（垢田～綾羅木本町）：バイパス整備

III 生活維新

⑬ 豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト

重点 施策 45 快適で住みやすい生活環境づくりの推進

◆ 空き家利活用等推進事業

5,458千円 P23

空き家の利活用や適正管理の促進、空き家の発生抑制のため、県民の意識醸成に向けた取組を強化するとともに、市町の取組への支援により空き家対策を推進

〔拡〕 山口きらら博記念公園交流拠点化事業

(19,888千円) P17

〔拡〕 山口きらら博記念公園交流拠点化事業【公共】

(1,345,547千円) P17

◆ 公共事業

645,193千円

身近な生活環境の快適さ、暮らしやすさを一層高め、誰もが実感できるように、各都市間の広域的な交流・連携、日常生活の利便性・安全性の向上に資する道路、通学路等の歩道の整備等を推進

《主要箇所》

- 〔道 路〕 ・ 国道435号（田耕）：バイパス整備
 ・ 県道串戸田線（打木野）：バイパス整備
 ・ 県道長門秋芳線（大河内）：バイパス整備
- 〔街 路〕 ・ 泉町平川線（湯田温泉～平井）：自転車歩行者道整備
 ・ 国道山手線（清瀬町～末武中）：現道拡幅

III 生活維新

⑱ 災害に強い県づくり推進プロジェクト

重点 施策 62 防災・危機管理対策の強化

◆ 河川整備基本方針調査事業 14,102千円

河川整備の基本となるべき方針を定める河川整備基本方針や、具体的な河川整備の内容を定める河川整備計画の策定等を行い、河川整備の効果的な実施を促進

◆ 緊急浚渫推進事業 592,220千円

近年相次ぎ発生している大規模自然災害を踏まえ、治水対策の強化に向けた河川等の浚渫を集中的に実施し、防災・減災対策を推進

◆ 土砂災害対策総合支援事業 5,486千円

がけ地の崩壊等から県民を守るため、市町と協力し、土砂災害特別警戒区域等の危険が著しい区域に存する住宅の移転等や建築物の改修等を促進

拡 民間建築物耐震改修等推進事業 41,502千円 P18

地震による民間建築物の倒壊被害から県民を守るため、市町と協力し、住宅・建築物の耐震診断・耐震改修費用や危険なブロック塀等の建替え・除却費用に対して補助を行うほか、耐震化に向けた総合的な普及啓発の実施により、耐震化を推進

◆ 住宅耐震改修エキスパート人材育成事業 11,014千円 P23

比較的安価に施工できる住宅の低コストな耐震改修工法を普及させるため、当該工法を熟知した技術者を育成し、住宅の耐震化を促進

Ⅲ 生活維新

| | | |
|------------------------|--------------|-----|
| ● <u>新たな道路整備計画策定事業</u> | (16,211千円) | P15 |
| ◆ <u>高速交通道路網調査費</u> | (9,000千円) | P19 |
| ◆ <u>山陰道整備促進事業</u> | (5,500千円) | P19 |
| ◆ 公共事業 | 17,013,251千円 | |

大規模な自然災害等の発生に備え、道路・橋りょうの防災対策、河川改修やダム建設等の洪水対策、土砂災害防止施設の整備、橋りょう等の耐震化等を行うことにより、災害に強い県づくりを推進

《主要箇所》

- [道 路] ・ 山陰道（木与防災）：バイパス整備
- ・ 国道187号（上根笠）：法面对策
- ・ 国道191号（栗野）：耐震補強
- ・ 国道489号（野谷）：現道拡幅
- [河 川] ・ 厚狭川、島田川、阿武川：河川改修
- [総合開発] ・ 大河内川ダム：付替道路工事
- [砂 防] ・ 新造谷川：土石流対策
- ・ 須川地区：地すべり対策

III 生活維新

重点 施策 63 日本一の安心インフラやまぐちの実現

◆ 建設DX総合推進事業

(100,141千円) P21

◆ 公共事業

13,534,251千円

持続可能なインフラ管理の実現に向け、個別施設計画に基づく各施設の修繕・更新等の老朽化対策を着実に推進するとともに、インフラメンテナンスの高度化・効率化を推進

《主要箇所》

〔道路〕・国道437号（大島大橋）：長寿命化

〔空港〕・山口宇部空港：舗装改良

〔住宅〕・旗岡県営住宅（下松）：建替

＜山口宇部空港＞



＜大島大橋＞



＜トンネル点検の状況＞



Ⅲ 生活維新

⑱ 暮らしの安心・安全確保プロジェクト

重点 施策 67 交通事故から県民を守る対策の推進

◆ 公共事業

1,194,548千円

交通事故等から県民を守るため、通学路等の歩道の整備や交差点の改良、踏切道の事故防止対策、歩行空間のバリアフリー化等を推進

《主要箇所》

- [道 路] ・国道2号（印内地区交差点改良）：交差点改良
・県道光日積線（岩田）：自転車歩行者道整備
・県道新南陽津和野線（下上）：自転車歩行者道整備
・県道小郡三隅線（小郡上郷）：踏切道改良

⑳ 人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト

重点 施策 70 快適でにぎわいのあるまちづくりの推進

◆ 持続可能なまちづくり集中支援事業

6,100千円 P24

持続可能なまちづくりに積極的に取り組む市町の施策を集中的に支援するとともに、防災の観点を取り入れるなど質の高い立地適正化計画策定の取組を推進